

一年を振り返って

今年度最後のMナビ新聞になりました。今年度のMナビ新聞は、校内研修に活用できる紙面作りを目指して発行してきましたが、いかがだったでしょうか？

ICTに限らず、全国の先進校に共通することの一つに「校内研修の充実」が挙げられます。情報教育班では、各校の校内研修支援を目指し、Mナビ新聞、MナビTVに加え、今年は「生成AI活用研修ガイドブック」を発行しました。また、長期研修（専門研究）の成果物として「遠隔授業推進パッケージ『えんかくいろは』」も公開されました。

普段、忙しい中で長い時間を取って研修を行うことはなかなか難しいと思いますが、職員会議後の短時間などの機会を利用することで、来年も校内研修の充実を図り、教育の情報化を推進していただければ幸いです。

プログラミング教材「micro:bit」の貸出について ※貸出場所が新年度からセンターとなります

プログラミング教育を推進するため、宮城県総合教育センターでは、令和2年度から、プログラミング教育に関する研修を実施するとともに、各教育事務所管内の学校が授業等で実践できるように、各教育事務所にプログラミング教材「micro:bit」を配置し、教育事務所から借用できる環境を整えておりました。プログラミング教育の普及が進み、教材も充実してきたこと、「micro:bit」の借用が減少していることから令和6年度をもって各教育事務所への配置を終了いたします。令和7年度以降は、本センターからの貸出となる予定です。詳細については、新年度になりましたらお知らせいたします。



令和6年度 宮城県総合教育センター 長期研修（専門研究） 教育の情報化研究グループ ～コンテンツ紹介～



令和6年度長期研修（専門研究）の教育の情報化グループでは、「同時双方向型遠隔授業の推進を支援する研究—遠隔授業推進パッケージ『えんかくいろは』の開発とその活用を通して—」をテーマに研究を進めました。

研究成果物として作成した「えんかくいろは」は、遠隔教育に関する背景や実態を踏まえ、学校現場の教員が遠隔教育の必要性を理解し、同時双方向型遠隔授業に必要な知識や技術を知ることができるパッケージです。

「えんかくいろは」は、動画コンテンツ「えんかく事典」と研修コンテンツ「研修いろは」の2つで構成されています。

「えんかく事典」は、学校現場で起こり得る出来事を想定した動画集となっており、初めて遠隔授業を行う先生にもわかりやすい内容で構成されています。「研修いろは」は、校内研修や自己研修等で遠隔授業についての知識や技術を短時間で知ることができるようになっていきます。

なお、この一年間の研究成果をまとめた研究報告書等は、センターのホームページに掲載されていますので、下のURL、又は、右上の2次元コードからご覧ください。

<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/jouhou/enkakuiraha/>



研修会情報

～令和7年度 宮城県教職員研修計画～ 専門研修「情報教育に関する研修」の紹介

令和7年度の専門研修「情報教育に関する研修」として計画されている研修会を紹介します。情報技術や人工知能技術の進展により、子供を取り巻く環境が急激に変化し、将来の予測が困難な社会になってきています。学習指導要領（小中学校平成29年、高等学校平成30年告示）では、各学校においては、児童生徒の発達段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることが示されています。これらのことを踏まえ、以下の情報教育に関する研修を実施します。詳細は、センターホームページに掲載している「令和7年度宮城県教職員研修計画」をご覧ください。

研修会番号	研修会名	分野	定員	月日	主な対象者等
FI100	情報教育スキルアップ研修会	情報教育	120名	6月6日(金)	児童生徒の情報活用能力向上について取り組む全ての教員
FI201 FI202 FI203	はじめよう！ 授業DX研修会 ※A、B、C日程のうち いずれか1日	教科指導 における ICT活用	各 40 名	A: 6月12日(木)※中学校 B: 6月25日(水)※高等学校 C: 7月8日(火)※小学校	普段からICTを活用した授業を実践しており、新たな視点で授業改善を考えている教員
FI300	はじめよう！ 校務DX研修会	校務の 情報化	35 名	7月3日(木)	普段から校務でICTを活用しており、新たな視点で校内の校務改善を考えている教職員
FI401 FI402 FI403	情報化推進リーダー 研修会 ※A、B、C日程のうち いずれか1日	全般	各 200 名	A: 5月30日(金) ※高等学校・特別支援学校 県立学校は悉皆 B: 7月15日(火) ※小・中学校 北部、東部、気仙沼 C: 7月16日(水) ※小・中学校 仙台、大河原	情報化推進リーダーまたはそれに準ずる教員(各校1名。市町村立学校:希望、県立学校:悉皆)

上記の研修会の受講申込は4月1日から11日までMナビオンラインの受講管理システムで受け付けます。

研修会番号	研修会名	分野	定員	月日	主な対象者等
FI500	教育DX推進訪問 研修会	全般	5校 1委員会	(学校単位) 2～3回 令和7年5月～令和8年1月 (委員会単位) 3～4回 令和7年5月～令和8年1月 令和8年5月～令和9年1月	特定の分野における教育DXを推進したいと考えている学校または教育委員会

上記の研修会の申込について、別途、3月11日付け通知にて各県立学校及び市町村教育委員会宛て(市町村立学校には市町村教育委員会経由で)案内していますので、そちらをご覧ください。

編集後記

今年度のMナビ新聞は、職員会議等の時間を利用して、短時間で利用できる研修のヒントを毎号掲載してきました。ご活用いただけたでしょうか。次年度も、教育の情報化に関する内容を発信していきますので、本誌を参考にいただければ幸いです。1年間、ご愛読いただきまして、ありがとうございました。

【第37号担当：情報教育班 氏家】